

X010

- T: はい、こんにちは【T】です。
- I: あ、こんにちは【I】と申します〈はい〉。  
よろしくお願ひします。
- T: お願ひします。  
えっと、【I】さんは、あの、いつごろの日本にいらしたんですか？。
- I: えーと、16年前はね〈はい〉、っと、4月7日、1991年。
- T: はい、ほー、ということは、もう何年、日本ですかね？。
- I: 16年です。
- T: 16年ですよ。
- I: もうすぐ17だけど{笑}。
- T: すごい。  
そうですか。
- I: はい。
- T: 今の、ちょっと、お仕事教えてください。  
どんなお仕事なさっているのか、内容…
- I: 今はね〈はい〉、っと、学校のきょうと[教頭]だけど〈はい〉、でも、いろいろなこともやりますから〈はい〉、えーと、教師の仕事も好きだから〈うーん〉、うん、つも、手伝ってるかな。
- T: あ、そうですか、はい〈はい〉。  
えっと、みや、【I】さんは、この学校から、あのお宅も近いんですか？。
- I: うん、近いんです。  
こちらから〈はい〉、歩いて5分ぐらい。
- T: あ、そうですか。
- I: うん、とどける。
- T: じゃ、もし私が今から、あの、【I】さんのお家に行くとして、ちょっと道順っていうか、一人で行けるように、教えてください。
- I: あ、えーと〈はい〉、こちらから〈はい〉、っと、なんだっけ、ゲート出て〈はい〉、左曲がって〈はい〉、道があるんだね〈はい〉。  
その道は〈はい〉、ひ、右に曲がってまっすぐ行って〈はい〉、はっし[橋]があったら〈はい〉、と信号もある〈うん〉。  
信号のあとが〈うん〉、2番目の、左〈うん〉。  
ちょっと難しいけど、近いだね。  
ごめんね、説明。
- T: 2番目の左。
- I: 左。
- T: はー。
- I: そう。
- T: 橋、橋があるんですか？。
- I: うん、橋がある。  
ちっちゃいのが、橋がある。
- T: 橋があるっていうと、川があるんですか？。
- I: ううん。
- T: 川。
- I: 川はなくて〈はい〉、何だっけ〈うん〉、あちらはね〈うん〉、っと、すい、何だっけ、すいせい、か〈はい〉。  
なんか〈はい〉、うーん、分からん、ちょっとね〈ふーん〉。
- T: わかりました、はい。  
そうですか、はい。  
で、あの、えーと、ご出身はどこですか？。  
どこからいらっしやいましたか？。
- I: あ、と、ブラジルからです。
- T: ブラジルですか。

X010

- I : はい。
- T : ブラジルは広いですけども、の、どこですか？
- I : っと、生まれたところはね、【地名1】だけど〈はい〉。  
でも、えーと、お母さんはね、銀行員だから、あちこちが〈はい〉行っているのだから〈はい〉、ね、新しいが支店が〈はい〉、ね、新しいが支店が〈ふん、ふん〉出たら〈はい〉、あちらにいて、みんな教えて〈はい〉、あと違う町に行くから、と、じゃあ、うまれたが【地名1】だけど、ブラジルがほとんどがわかる。  
あちこちが2か月〈ほおー〉、1年、あちこちがいてるから。
- T : そうですか。
- I : うん。
- T : じゃあ、私は行ったことないんで、えーと、その、あそこが良いですよって言うお勧めの町というか、都市はどこですか？
- I : ねー、私のふるさと【地名2】から{笑}、【地名2】が良いかもしれない。
- T : じゃ、【地名2】の町のことをちょっと説明してください、どんな、どれだけ魅力的な町か、はい。
- I : {ブレス}〈はい〉、うーんと、大きな町が〈はい〉。  
あとは、えー、便利〈はい〉、住むところがね〈はい〉。  
便利と〈うん〉、あとは〈うん〉、何だっけ〈うん〉、と、若い人でも〈はい〉、勉強がいろいろなところもできるし〈うん〉、あとはきれいな、きれいなま、きれいな町だから〈うん〉。  
と、何だっけ、人気者が、いろいろながあるので。
- T : 人気者。
- I : うん、人気者やなくて、なんだっけ〈はい〉、{ブレス}、あれは、えーと、...
- T : 为什么呢？
- I : 为什么呢なね。  
うーん、いい、例えば博物館とか、えーと、公園とか〈ふーん〉。  
えーと、うーん、と、なんだっけ。  
あ、説明が難しい、ごめんね。
- T : あー、いえいえ〈うん〉、はい。
- I : 昔の〈はい〉、昔の建物も、いろいろながいるから〈はー〉、うん。
- T : そうですか、歴史的なものがたくさんある。
- I : はい。
- T : ふーん、で、あの、じゃ、【地名2】は大都会ですね、おっきい町。
- I : おっきい町です。
- T : で、えっと、【地名3】はとっても、あの、こう、あたたかくて、小さいいい町ですよな〈はい〉。  
どちらが好きですか？  
両方好きですか？  
どっちが特に。
- I : と、両方は好きだけど〈はい〉、うーん、今は、私の家族はここにいるから〈うーん〉、じゃあ【地名3】に、のほうが...
- T : あの、そうですね、いらっしゃるからだけど〈うん〉、でも、町としては賑やかな、もう、大、大都会がいいのか、それとも、もっと静かな、はい、いろんな人たちがこう、近い、近い関係でいるところとどっちがいいですか、本当は？
- I : あ、じゃあ...
- T : もし家族いなければ、はい。
- I : いなければ〈うん〉、あー、じゃあ、【地名3】かな。
- T : あー、やっぱ静かな...
- I : 静かな。
- T : ところで、自然があるところ。
- I : はい。
- T : でも、ちょっと不便じゃないですか？
- I : うーん。
- T : うん、でも自然があるところがいいんですか。

X010

- I : うん、ぜんがあるところがいいです。
- T : うん、どうしてですか？
- I : えーと、ひ、もうちょっと、広いぐらい、広いなイメージが〈うん〉、できるから〈はい〉、うん {笑}。
- T : 広いイメージ？
- I : うん、広いのイメージ何だっけ〈はい〉。  
えっと、いつもが {舌打ち}、おっきな町〈はい〉はね〈うん〉、えーと、人数多いと〈うん〉、あとは音がいっぱいあるから〈うん〉、ちょっと、ときどきは苦しいな、感じがあるんだね〈うん〉。  
うん、ちっちゃいの町は〈うん〉、自然がいるから〈うん〉、ね〈うん〉。  
あと安心も〈うん〉、うん。
- T : ふーん、なるほどね、で、さっき、あの、家族がいるから、【地名3】好きとおっしゃったけど、ご家族のことちょっと聞いてもいいですか？
- I : うん、どうぞ。
- T : 教えてください。
- I : はい。
- T : 何人いらして、だ、誰がいらっしゃるんですか？
- I : えーと、家族が4人。  
あたし〈うん〉と主人と長男と次男です。
- T : ふーん、そうですか。  
で、じゃあ、お母さんですね。
- I : はい。  
お料理をね、こういろいろ作るんだけど、得意な料理って何ですか？
- I : ラザニア {笑}。
- T : ラザニア。  
ちょっと、その作り方を、えー、あした、かえり、あの、あした家で作りますから、教えてください。
- I : あ、そうですか…
- T : はい、詳しくお願いします。
- I : えーと {舌打ち}、ラザニアの Pasta が、えっと、を、茹でて、それはね〈はい〉、えーと、茹でたら〈うん〉、網で、網に入れて〈はい〉、その水が、とって、と、なんだっけ、あれは、{ブレス}、お皿に〈はい〉、でも、普通の皿じゃなくて〈うん〉、レンジに入れるお皿〈はい〉、レンジ用のお皿が〈はい〉、Pasta が、えっと、Pasta が、集めて、あとはミットソース〈うん〉、と、ハム〈うん〉、あとまた Pasta 〈うん〉、あとまた、えーと、{舌打ち}、ホワイトソースがかけて〈うん〉、また Pasta 〈うん〉、うん、あとは、最後の、またミットソースです。  
と、レンジ入れて〈うん〉、5分ぐらいが〈うん〉、ね〈うん〉 {笑}。  
あっちにおいて〈うん〉、{笑} できあがり。
- T : できあがり、あー、おいしそうですね。
- I : おいしそうです {笑}。
- T : ほー、みんな家族も好きなんですか、それ？
- I : うん、好きです。
- T : そうですか、なるほど、いいですね。  
あの、【I】さんの、えっと、まあ、学校のときはね、ずっと同じこう、ね、いろんな仕事なさって、休みの日の、朝から、こう、一日を教えてください、どんな一日ですか？
- I : {舌打ち}、えー、私の〈うーん〉、私の息子だね〈うん〉、息子たちは〈うん〉、サッカークラブに入ってるから〈うーん〉、ほとんどは、土日〈うん〉休みの日は試合〈うん〉、試合があるから〈うんうん〉、朝から、試合のじゅんぴ [準備]、サッカーの準備をして〈うん〉、一緒にグラウンドに行って {笑}、応援して〈ほー〉、うん、また、戻ります。
- T : へー。  
ちょっと待ってください。  
でも、月曜から金曜仕事でしょ。
- I : はい。
- T : 休むことってないんですか？

X010

- I : あー、あまりないんです〈は一〉。  
でも、と、まだ子どもが、一緒にが、いるから、うん、できれば〈うん〉、ね〈うん〉、す、えっと、何だっけ〈うーん〉、今はちっちゃいだね〈うん〉、ちっちゃいけど、でも、{ブレス}、ちっちゃいじゃない、何だっけ〈うん〉、今はね〈うん〉、子どもと一緒にだから〈はい〉、できることが一緒にやる〈はい〉。  
おっきくなったらできないでしょ〈うんうん〉。  
えっと、中学、高校生になったら〈うん〉、もう離れて、だんだな、ね、自分の道が〈うーん〉、見てるから〈うーん〉、できれば一緒にいます。
- T : あー、素晴らしい。  
うーん、だけど、中には、そうやって必ずね、お母さんも一緒にサッカーに行かなきゃいけない、これはもうめんどくさい、やだっていう人もいませんか？。
- I : うん、いる。
- T : いますよね。
- I : いるいるいる。
- T : そういうお母さんはどう思います、についてどう思いますか？。
- I : {ブレス}、はー、と、いろいろな関わりがあるから〈うん、うん〉、いろいろな人もいるから〈うん〉、でも〈うん〉、うーん、もったいない{笑}。
- T : もったいない。
- I : もったない、思ってる。
- T : うーん。
- I : うん、疲れると苦しいが時々があるんだけど、そじ[掃除]もできない〈うん〉でしょ。
- T : うん、うん。
- I : ね。
- T : うん。
- I : でも子どもと一緒にだから幸せ。  
月曜日から金曜日まではあまり会わないでしょ、ね。
- T : うん。
- I : 子どもと一緒にが時間がないから〈うん、うん〉、うん、どー、土日が〈うん〉、あればよかった、うーん。
- T : なるほどね、あの、そうするとね、今、あの、都会、え、あの東京とかだと、お母さんと子どもの触れ合いが少ない、全然会話をしない人が多いんですね、が多いっていうか増えてきてるんですね。
- I : 多いんだね、うん。
- T : それについてはどう思いますか？。  
どうしたらいいんですかね？。  
時間はあるんです、お母さん働いていませんから。  
話したくない。
- I : えー、それは困るのね〈うん〉。  
そうだね〈うん〉、ちょこっとだけど〈うん〉、時間が子どもにさせてもらえば〈うん〉ねー、いい人になるかもしれない、子ども〈うん〉、ねー。  
それは自分の未来が作るから〈うーん〉。  
子どもはね、お母さんが見る見本ね。
- T : うん。
- I : いい見本が〈うん〉、見たらいいところが見えちゃうんだけど〈うん〉、でも、そのままがつげ、続けたら、ちょっと困る〈うん〉。  
会話もないし〈うん〉ね。
- T : うん。
- I : あとは自分の〈うん〉考える、自分の夢も〈うん、ん〉できないんですね。
- T : 夢。
- I : い、夢。
- T : 夢ね。
- I : 夢。
- T : あー、できないから〈うん〉。

X010

そうですね。

さて、その【I】さんの夢って何ですか？。

I： 私の夢。

あー、あたしの夢はね、子どもが、大学に2人が大学に入れて、ね、だ、2人が自分の足が歩いて〈うん〉ね。

T： うん。

I： 自分の、い〈うん、うん〉、自分の仕事も見つけて〈うん〉。

あたしは〈うん〉、あちこちが旅行、世界に{笑}。

T： ふーん、旅行が趣味ですか？。

I： はい、写真が大好きだ。

T： 今まで行ったところで一番良かったところはどこですか、旅行で〈うーん〉、ブラジルでも、日本でもどこでもいいですけど？。

I： 一番ね。

と、今まではね、あたしあまりはね、できなかったから。

でも、ブラジルの【地名4】と【地名5】〈ふーん〉、一番いいところを見た、自然がすごい。

T： 【地名4】？。

I： はい、海。

T： あ、ちょっとそどこんなどころか教えてください、もう一度、はい。

さっき【地名2】教えてくれましたけど、今度はそこ教えてください。

I： うーん、【地名4】はね〈うん、うん〉、えーと、【地名6】の〈うん〉海〈うん〉。

【地名6】の、なんだっけ、【地名6】お名前だね、【地名6】ね。

T： はい。

I： 【地名6】の方は{舌打ち}〈うん〉、静かな海〈うん〉。

子どもでも〈うん〉できる〈うん〉、波があまりないから。

T： はー。

I： うん。

あとは、すごくきれいな海〈うん〉。

お魚が全部が見える。

T： ほう。

I： そう。

T： ほう、そうですか。

I： うん。

I： そう。

その泡すごく白いの。

そのあと、あとはいつもがいい天気〈うん〉。

優しい人が多いね〈ふーん〉、うん、休みが、ちゃんとできる〈ふーん〉、ところ。

T： 休み、休みができる。

I： うん、休みできるのだけ、えーと、ゆっくりが、休みができる。

ほか…

T： あー、あ、のんびりできるんですね。

I： ほか、そ、のんびりが、うん。

ほかの、お、ほかの、考えるが、例えば仕事の考えるが、それは全部忘れて〈わー〉、あちらはできる。

T： なるほどね。

そうですか。

じゃ、サンドラさんはときどきっていうか、たまに、こう、ブラジルに帰るんですか？。

I： うん、帰らないんです〈うん〉、すごく高いから{笑}。

T： いつ、前に帰ったのいつごろですか？。

I： 最後の、2002、2003年かな。

4年〈うん〉。

ごめんなさい〈ふーん〉、2004年。

X010

- T: あー、でも、まー、ね、4年前に帰ってらっしゃるんですね。
- I: うん、4年前。
- T: で、あの、やっぱり日本とブラジルの文化ですごく違うところって、あー、違うなって、やっぱり思うことありますか、行ったり来たりして？。
- I: うーん、やっぱり…
- T: 日本人と…
- はい。
- I: 整理整頓と、あとは {笑}、ルール守るところがね、すごいが、日本にね。
- T: あー、日本の良さね。
- I: はい、うん。
- T: でも、逆にブラジルの人、このね、のんびりしたおおらかなところがいいなって私は思うんですけど。
- I: ねー、それが、バランスできれば〈うーん〉ね、いい性格になるかもしれない。
- T: はー。
- I: ブラジルもいいところもある〈はい〉。  
日本のいいところもある〈うん〉。  
ブラジルの悪いところもあるね、日本も。
- T: うん。
- I: うん。
- T: なるほど。
- I: 私たちがあちこち、が、だいたいがしてるから、それは、ラッキー〈うん〉。  
いいところが〈うん〉、両方のいいところが〈うん〉、かんがえば、ばっちりだ。
- T: ばっちりね {笑}。
- I: {笑}、難しいけど。
- T: じゃ、【I】さんの家はばっちりですね。
- I: {笑}、まだまだ。
- T: じゃ、その…
- I: がんばってる。
- T: あー、ね、素晴らしいですね。  
そして、あの、この【学校名】ね、あの、とても、あの一、いい学校だと思うんですけど…
- I: ありがとうございます。
- T: どんな点が特に【I】さんが、ここは、【学校名】のいいところっていうのは、どういうところですか？。  
ちょっと、外の人にPRするつもりで言ってください。
- I: えーと〈はい〉、いいところ、ここ？。
- T: うん。
- I: え、これはね、えっと、子どもは、子ども誰でもがチャンスが、あげたいんです〈うん〉、ね。
- T: はい。
- I: みんなは〈うん〉得意ところがあるから〈うん〉、その得意ところがアップします。
- T: うん、うんうんうん。
- I: うん。  
あとは、心も〈うん〉、心配もあるから〈うん〉、心がつけ、作って〈うん〉、勉強も作る。
- T: うーん。
- I: そう。  
気持ちがあれば、気持ちを作って〈うん〉、気持ちが作ったら勉強も〈うーん〉、それはできる。
- T: なるほどね〈うん〉。  
だけど、【学校名】に来られなかった人はかわいそうですね〈うーん {舌打ち}〉。  
遠いとか知らなかったとか。
- I: そうですね〈うん〉。  
うーん、でも、、、説明もあるから〈うん〉、いろいろな説明、電話でも〈うん〉、説明とか〈うん〉、あとお話もできるし〈うん〉。  
あとは、何だっけ〈うん〉。

X010

えーと、難しいわね〈うん〉。

こっちは来られない子はね〈うん〉、うーん〈うん〉、他のところに〈うん〉、行って〈うん〉、ね、もう、その感じがね、頑張りましたら〈うん〉、ねー、あたしたちも嬉しいですね。

T: なるほどね。

I: やっぱりが〈うん〉、みんなが〈うん〉、100パーセント、あたしたちが、面倒みるできないから〈うん〉。

でもできる〈うん〉、できる子だけは〈うん〉、ね、それは作って〈うん〉、その子が〈うん〉違う人にも教えて、ね〈なるほど〉、ね、だんだんが〈うん〉、みんなに〈うーん〉、届けることがある。

T: うん、で、えっと、もちろん【I】さんは、えっと、日系ブラジルの方はポルトガル語もちゃんと覚えてね。

I: はい。

T: あの、自分のものにするべきだと思ってるじゃないですか。

I: はい。

T: で、あの、ま、ね、近くにいる人が、そんなものいない、日本にいるんだから、日本語、家庭でも日本語を使えばいいっていうようなね〈はい〉、考えの人がいたら、その人に対してどんなふうにアドバイスしますか？

I: 日本にいるから、こっちら、あたしたちはね〈うん〉、今は、えーと、日本にいるから〈うん〉それは必要〈うん〉、ね〈うん〉。

日本語は〈うん〉、覚えられない人が〈うん〉、んと、会話できない。

と、自分のディファレンスもできない〈はい〉。

あとは、ほんとに届ける場所は…

T: ディファレンス、ちょっと、日本語で説明してください、何ですか？

I: ん？

T: え、日本語で、ディファレンスができない、うん？

I: あ、ディファレンス〈うん〉、あ、違うところ？

T: ううん、まあ、ちょっと、日本語でおし、説明してください、なんですか？

I: あ、えーとね、日本、日本語が〈うん〉、えーと、勉強〈うん〉したくない人が〈うん〉、そのこと？

T: うん、あの、ちょっと全部日本語にしてほしかったので、はいはい、もう一度。

I: あ、えーと、日本語はね〈うん〉、勉強しな、したくない人が〈うん〉、それは困ること〈はい〉、日本にいるから〈はい〉、ね。

長い間〈うん〉、と〈うん〉、あと短い間〈うん〉、それまだわからないでしょ。

T: はい。

I: ね。

でも、こちらに、えっと、暮らしてるから〈はい〉、それがとてもが、必要でしょ。

T: はい、はい。

I: ね。

T: はい。

I: それは大事〈はい〉、うん。

あいさつぐらいで〈うん〉、あとは、日本の文化を、うーんと〈うん〉、守るところ〈うん〉、守るところじゃなくて、何だっけ〈はい〉{舌打ち}、えーと、ブラジルの文化がある、日本の文化があるのね。

T: はい、はい、はい。

I: でも、日本にいるから〈はい〉、日本の文化で〈はい〉、ちょっとがね〈うん〉、えーと、慣れた方が〈うん〉、住みやすい。

T: うん、うんうんうん。

じゃ、ポルトガル語はいらないですか〈うん〉？

いりますよね。

I: ポルトガル語が、ぼ、いるんです。

親戚…

T: でもいないって言ったらいかがですか？

もう、そんなもん日本にいるから、わかりました【I】さん、えっと、文化、日本の文化をよくわかって、日本語を覚えますから、ポルトガル語いりませんって言ったらいかがですか？

X010

注意を。

I : あ…

T : 忠告。

I : えー〈はい〉、ふるさとが〈はい〉、自分の、だ、例えば自分のふるさとじゃないけど〈うん、うんうん〉、おじいちゃんとおばあちゃんのふるさと〈うーん〉、それも〈うん〉、えーと、守って〈うん〉、それは、プラス日本の文化は〈うん〉、自分のチャンスが、自分ど、自分の、何だっけ、自分で、力もつと作る〈うん、うんうん〉、ね。

T : うん。

I : 例えば、日本語だけが知ってる人、ポルトガル語だけ〈はい〉知ってる人が、より、よくわかる、チャンスがもつとができる。

T : はー。

I : うん。

未来がもうちょっとひどくなる。

T : うん、ひどくなる？

I : うん、チャンスがひどくなる。

T : あ、はいはい、あ、広くなるんですね。

I : ひどくなる、ね。

T : はいはい、わかりました、うんうんうんうん。

I : 仕事のこととか〈うん、うん〉、あと勉強のこととか〈うん、うん〉、ね、うん。

T : なるほどね。

I : いろいろなことが〈うーん〉、ね〈うーん〉。

T : そうですね、わかりました。

今、わたしがいっぱい、き、うかがったので、お聞きしたので、今度【I】さんが私に聞いてください。  
はい、どうぞ、はい。

I : {笑}、難しい、ほんとはね。

T : どうぞ {笑}、なんでもいいです。

私のことを聞いてください。

I : あー、んと、今、やってる仕事は、ね、えーと、今やってる仕事はね、どこに一番大事、ポイント？

T : あ、わたしのですか？

I : はい。

T : はい。

あの、たくさんいろんな国の人がいますから、それぞれの良さを見つけることです、はい。

I : いいね〈はい〉。

あとはねー、と、【学校名】だけじゃなくて〈うん〉、どんな学校も行ってるんですか、その…

T : えーと、日系ブラジルの学校はここだけです。

I : ここだけですか。

T : はい、とてもいい、素晴らしい学校だと…

I : あ、そうですか。

T : 伺いました、はい。

I : ありがとうございます。

えー、あとはどんな学校に行ってますか？

T : 学校ですか。

学校じゃなくていろんなところに行って…

I : あ、ところ。

T : はい。

I : あー、ところだけ。

T : は、はい、ところっていうか、ど、いろんな他の、あの、仕事で、はい。

I : あー、そっか。

外国に行ってます？

T : あ、はい、よく行きます。

X010

- I : あ, ど, 一番, 今までは, 一番いいところが, どれですか?。  
T : あ, 一番好きなのは, えーと, チェコという。  
I : おー, チェコだ。  
T : はい, チェコが大好きです。  
I : わかった。  
どうぞ。  
T : じゃ, 最後の質問どうぞ, 1つだけ。  
I : はい。  
T : 1つだけしてください。  
I : 1つだけ。  
はい, わかりました。  
あー, えーと,,, 今から, どこに, え, ど, どの国が, えっと, い, 行きたいんですか?。  
T : えーと, そうですね。  
まだ, 行ったと, 行ったことがない国で, 行きたいのは, 北朝鮮ですけど, あそこは, 行くことができません {笑}。  
はい, 興味があります。  
I : わかりました。  
T : はい, ありがとうございます。  
I : ありがとうございます。  
T : はい。  
あの, えーと, ここからロールプレイしたいんですけど, ミニドラマ, いいですか?。  
したことありますか?。  
I : はい。  
T : ありますか?。  
I : あ, わたしはしたことない。  
T : あ, じゃ, ちょっと, やりましょう。  
I : はい。  
T : えーと, ふたりでね (うん), 役を決めて。  
あの, 【I】さん自転車乗りますよね?。  
I : はい。  
T : はい。  
それで, あの, じゃ, ちょっと, これを読んでみてください。  
いいですか?。  
I : はい。  
T : 声を出して読んでください。  
I : あなたは, えっき [駅] の前にじでんしゃ [自転車] を置いておきましたが, 今, 見当たりません (うん)。  
警察に行って話をしてください。  
T : いいですか?。  
I : はい。  
T : えっと, いつも乗っている自転車を【地名3】の駅前に置きました, そしたら…  
I : なかった。  
T : ないんです。  
だから, 交番に行って…  
I : 言ったことある…  
T : あ, ある (笑)。  
じゃ…  
I : ほん, ほんき。  
T : ほんとに?。  
I : ほんとのことだ。  
T : じゃ, もう, 易しいかな。

X010

ちょっと、じゃ、やりましょうね。  
私警察の人ね。

I : はい。

T : 今いつも乗っている自転車がなくなりましたよ。

はい。

え、どうしましたか？。

I : あ、すみません。

えーと、あたしの自転車が駅の前こっちにおいたんだけど、朝に置いたんだけど、今、ちょっとなくしちゃったんですか。

T : え、そうなんですか。

I : はい。

T : お、え、駅のどの辺に置いたんですか？。

I : えっと、駅が、えーと、入口の前に〈うん〉、入れたんだけど〈はい〉、いないんです。

T : そうですか。

I : はい。

T : 自転車が見つからない。

見当たらない、うーん、えっと、どんな自転車かちょっと説明してください。

I : 色はね〈はい〉、銀色と〈はい〉。

あと26インチのタイヤ〈はい〉。

えー、何だっけ。

あとはね〈はい〉、かごに〈うん〉、子どもの〈うん〉、マフラーが入れたから〈ほー〉、そうピ、ピ、ピンクじゃなくて{笑}、は、水色のマフラーが入れたから〈うん〉、その自転車。

T : あー、なるほど。

えっと、入っているのは、えっと、マフラーだけですか、かごの中にあるのは？。

I : マフラーと、あ、たぶんが、缶{笑}。

T : は？。

I : コーラの缶。

T : コーラの缶。

I : {笑}。

T : はー、わかりました。

I : 捨てる場所がなかったから〈はーはーはー〉、必ず〈うん〉、あっちにおいて〈ん〉、うちに持ち帰って〈うんうん〉、自分のゴミが捨てるから。

T : そうか。

はー、なるほどね。

うーんと、缶と、はーはー、えっと、防犯登録はしてありますか？。

I : はい。

I : あ、そうですか。

T : してあります。

T : んー、じゃあ、割とすぐ出てくると思う。

{ブレス}、その自転車見たような気がするんですが。

ちょっと見かけましたような気がするんですけどね。

えーと、すみません。

ちょっと、お名前とあれを、じゃ、教えてください〈はい〉。

えっと、お名前は、はい。

I : あ、【I (フルネーム)】です。

T : そうですか。

I : はい。

T : ちょっと、電話番号も教えてください。

I : えーと、【電話番号】。

でも、いつもが、あたしは7時から〈うん〉8時までいないので〈うんうん〉、携帯電話に入れてもらえま

X010

せんか？。

T： はいはい、わかりましたよ。

I： 伝言。

じゃ、【電話番号】〈うん〉です。

T： はい、わかりました。

I： よろしくお願ひします。

T： えーと、たぶんね、防犯登録してあるし、えー、でてくるとおもいますからね。

I： はい。

T： じゃ、すぐ連絡しますからね、出てきたらね。

I： はい、あ、よろしくお願ひします。

T： はい、はい、これで、ロールプレイ終わります、はい。

でも、一度経験したんですね、そのとき出てきました？。

I： あ、ちょうどはね〈あー〉、えー、クリスマスイブに〈ほおー〉、なくして〈へえ〉、あと、次の、な、例えば、20、2002年のクリスマスイブね。

T： 24日に…

I： 2003年の、クリスマスにまた戻った。

T： {笑}、一年後に。

I： 1に、ちょうど、ご、1年。

T： ボロボロになってましたか？。

大丈夫でした？。

I： 全然平気。

全然、鍵がしまってる〈はあー〉。

あのまんま。

T： はー。

I： うん。

T： どう、どういうことが、なってたんでしょうね。

I： 警察に聞いて、ずっとアパートの中にしまってた〈あー〉から使わなかった。

T： なるほど。

で、ところでなんか、缶の中に、あー、ごめんなさい、かごの中に、ちゃんとコーラの…

I： ああ、そう、それは、それは、それは違う {笑} 〈{笑}〉。

それは…

T： {笑}、素晴らしいと思った。

I： それは、そう、そう。

T： {笑}、ほんとは…

I： それはドラ、ドラマだね、ドラマだ。

T： いや、素晴らしく礼儀正しい人だなと思ったんですけど。

そうですか。

はい、えーと、今日はもう4時半ですけど、これからどうなさいますか？。

I： あ、4時半は、まだ仕事に戻って

T： あ、はいはい。

I： えー、今日はね〈うん〉、あたしは、しじまでがいますから〈はい〉、うん…

T： まだお仕事…

I： あと、お知らせ〈はい〉、月曜日のお知らせも作ります。

T： はい、わかりました。

I： 恥ずかしい {笑}。

T： 今日はどうもありがとうございました。

I： いいえ {笑}。

T： どうも失礼します。